

STAR

ブロードキャスト用

ダブル電動シャッタユニット

取 扱 説 明 書

製品コード
型

式

K34789

ACB3100W

部品ご注文の際は、ネームプレートをお確かめの上、
部品供給型式を必ずご連絡下さい。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

組合せ型式一覧表

型 式 コード	規格 リットル	ベース ユニット	ダブル電動 シャッター ユニット	GPS ナビライナー	サブホッパ ユニット	パワージョイント /パーツユニット	備 考
MBC603WE 98333	600	UBU603W 98332	ACB3100W 34789			SE-070 30782	2スピナー ダブル電動
MGC603WN 98334				EGL3110 98219			2スピナー GPS ダブル電動 経路誘導 可変施肥
MBC603WE-0L 98335							2スピナー ダブル電動
MGC603WN-0L 98336				EGL3110 98219			2スピナー GPS ダブル電動 経路誘導 可変施肥
MBC1203WE 98337	1200				UBE12000 34124	SE-070 30782	2スピナー ダブル電動
MGC1203WN 98338				EGL3110 98219			2スピナー GPS ダブル電動 経路誘導 可変施肥

はじめに

安全上の注意点

作業前には、本取扱説明書、ブロードキャスタ本体の取扱説明書および作業機、トラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

本取扱説明書は、お手持ちのブロードキャスタ本体の取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

も く じ

	はじめに.....	1
--	-----------	---

1	トラクタへの装着	
	1 取り付け方法.....	4
	2 配線方法.....	5
	3 オプション.....	7

2	初期登録	
	1 ゼロ点登録.....	8

3	装置の説明	
	1 コントロールボックス.....	11

4	作業の仕方	
	1 作業前設定.....	12
	2 作業開始.....	13
	3 作業終了.....	13
	4 シャッタ 18 段階モード.....	14

5	GPSナビライナーとの接続 ...	17
---	-------------------	----

6	AG-PORT搭載トラクタとの接続
	1 機能 ……18
	2 対応するトラクタ ……18
	3 配線方法 ……18
	4 作業方法 ……18
7	不調処置一覧表
	1 不調処置一覧表 ……20
8	配線図 ……………22

1 トラクタへの装着

1 取り付け方法

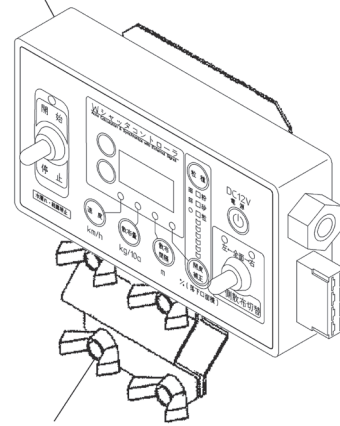
1. コントロールボックス

コントロールボックスをトラクタ運転席の操作しやすい場所に取り付けてください。

オプションのブラケット；クミ使用の場合は、右ドア取っ手に、ブラケット；クミを取り付けてください。

コントロールボックスはブラケット；クミに取り付けてください。(マグネット固定)

コントロールボックス



153450
ブラケット；クミ(オプション)

▲ 注意

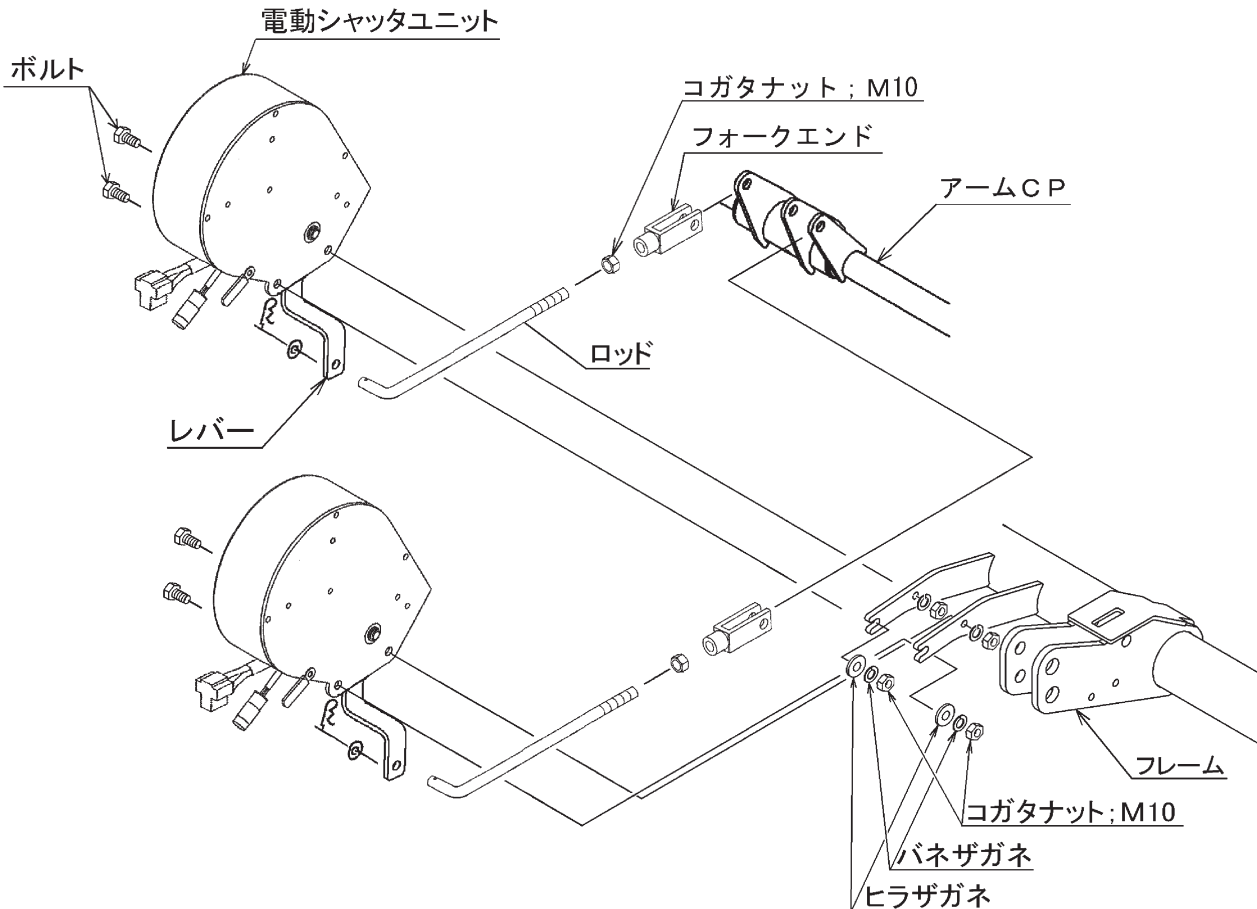
- 運転の妨げにならない所に取り付けてください。

2. 電動シャッタユニット

フレームにボルト、ヒラザガネ、バネザガネ、コガタナット；M10で固定してください。

3. ロッド、フォークエンド

フォークエンドをアームCPに取り付けロッドをレバーに取り付けてください。



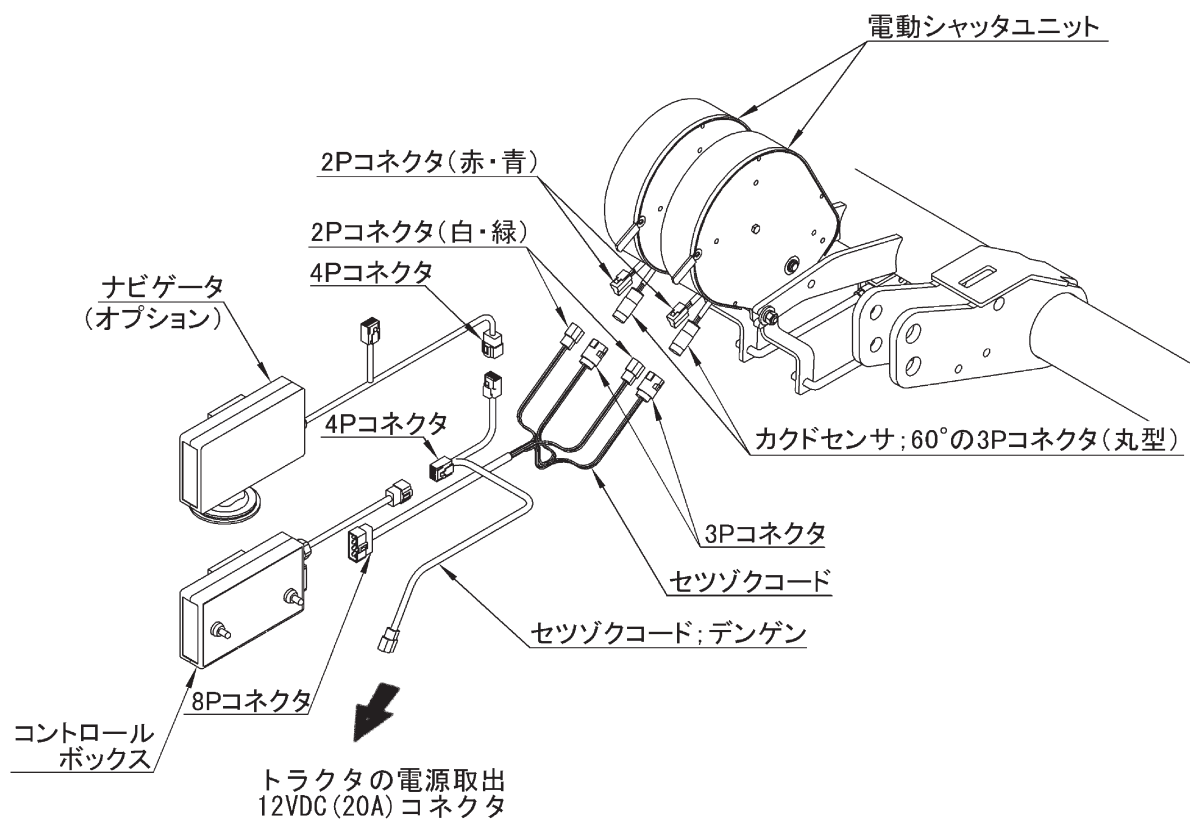
2 配線方法

⚠ 注意

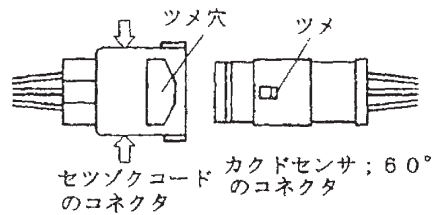
- 電源スイッチを入れるときは、作業機の周囲に人がいないことを確認してください。不意に電動モータが作動し、思わぬ事故を起こす可能性があります。

取扱い上の注意

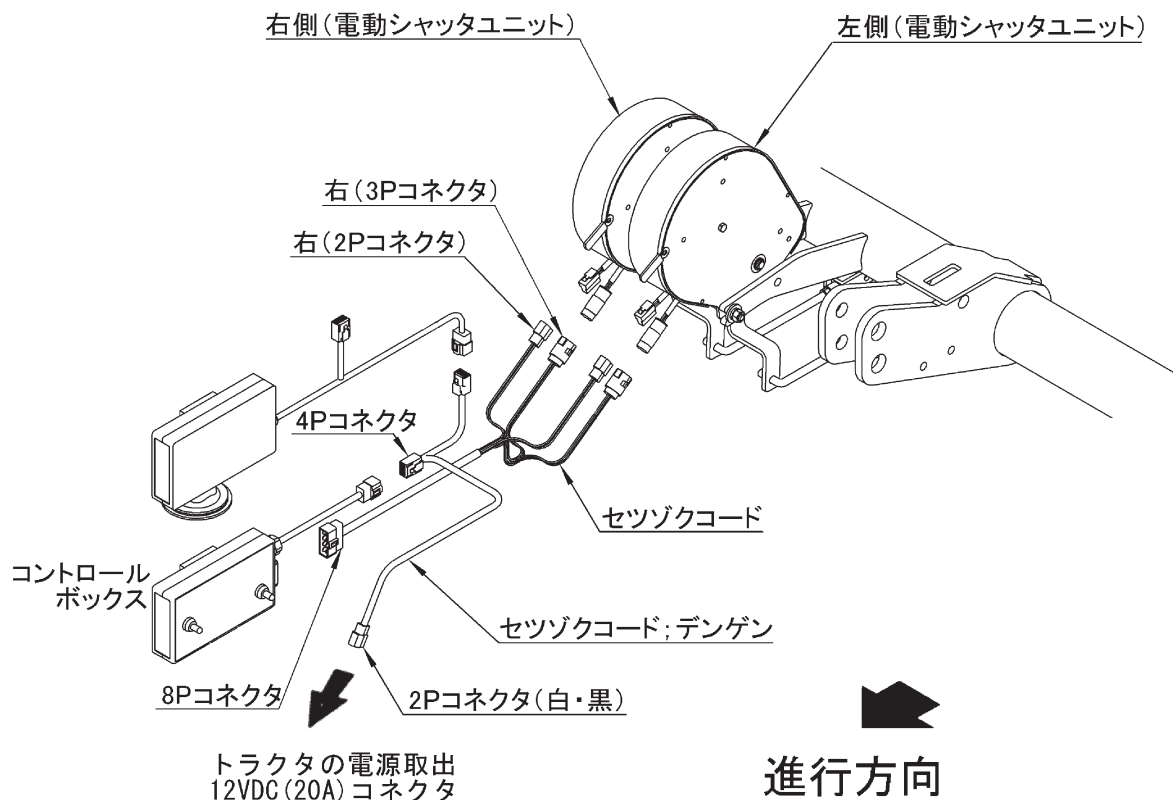
- 2Pコネクタを接続する際には、必ずコード色を確認してください。誤って接続するとコントロールボックスを破損するおそれがあります。
- 使用しないときは、必ず電源ボタンを押して電源を切ってください。バッテリーあがりの原因となります。
- 各スイッチを同時に操作しないでください。
- コントロールボックスは、水濡れ厳禁です。
- 使用後、また長時間使用しないときはコントロールボックスを取り外して、屋内で保管してください。バッテリーあがり、結露の原因となります。
- 配線がトラクタ座席に挟まるとショートします。必ず配線は固定してください。



- (1) セツゾクコードの2Pコネクタ（T字、コード色 白・緑）と、3Pコネクタ（丸型）を電動シャッタユニットのコネクタにそれぞれ取り付けてください。
 カクドセンサ；60° の3Pコネクタ（丸型）の接続は、ツメがツメ穴部に引っかかるまで挿し込んでください。硬いときは、下図の矢印方向にコネクタを少し押しつぶしながら強く挿し込んでください。少量の油脂を塗布するとスムーズにはまり込みます。



セツゾクコードには「右」と書かれたラベルが付いています。「右」と書かれたラベルが付いた2Pコネクタと3Pコネクタには進行方向に向かって右側の電動シャッタユニットに、ラベルが無い方は進行方向に向かって左側の電動シャッタユニットに取り付けてください。



- (2) セツゾクコードの8Pコネクタを、コントロールボックスに取り付けてください。
 (3) セツゾクコード；デンゲンの4Pコネクタをコントロールボックスに取り付けてください。
 (4) セツゾクコード；デンゲンの2Pコネクタ（T字、コード色 白・黒）をトラクタ内の電源取出し12VDCに取り付けてください。
 (5) コントロールボックスの初期登録を行ってください。

※トラクタ側に日農工規格の電源コネクタが出力されていない場合は、バッテリーから電源を取り出すコード（コード；3500 部品番号1345440000）が別途必要になります。

3 オプション

下記オプションを用意しています。必要に応じて別途購入してください。

部品番号	名 称	用 途
1345440000	コード ; 3 5 0 0	トラクタ内に電源取り出し12VDCが無い場合、バッテリーから電源を取り出します。
1563780000	エコトラリンクセットAS	ヤンマー Y Tトラクタ（メカ仕様除く）のエコトラリンク機能に対応します。
1563790000	KSASセットAS	クボタ KSASトラクタ、またはGPS車速連動装置KSRUに対応します。

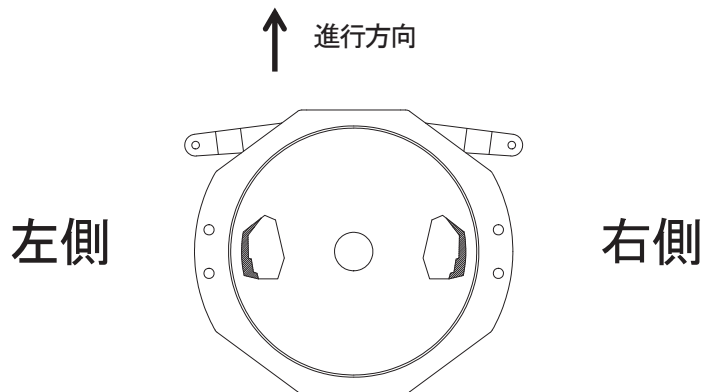
※ エコトラリンクセット、KSASセットの詳細については、購入先にお問い合わせください。

2 初期登録

1 ゼロ点登録

ダブル電動シャッターユニットのゼロ点登録は、右側シャッターと左側シャッターでそれぞれ行う必要があります。進行方向を向いて、右が右側シャッター、左が左側シャッターになります。

※ ゼロ点登録は、ご購入後一度登録すると記憶されますので2回目以降の作業時に、再登録する必要はありません。

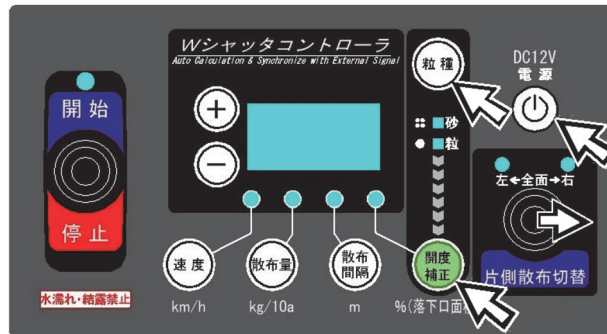


1. 右側シャッターのゼロ点登録

(1) ゼロ点登録モード起動

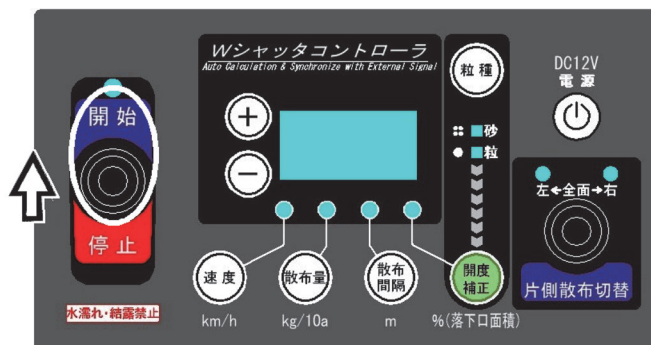
片側散布切替スイッチを「右」側に倒してください。「粒種」と「開度補正」ボタンを同時に押しながら「電源」ボタンを押し、「電源」ボタンを先に離した後、「粒種」と「開度補正」ボタンを離してください。電源が入ります。

片側散布切替スイッチを倒し忘れた場合は、「電源」ボタンを押して電源を切って、再度初めからやり直してください。

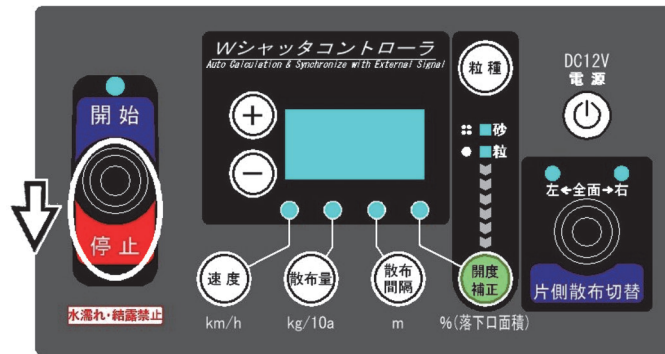


(2) シャッターのゼロ点合わせ

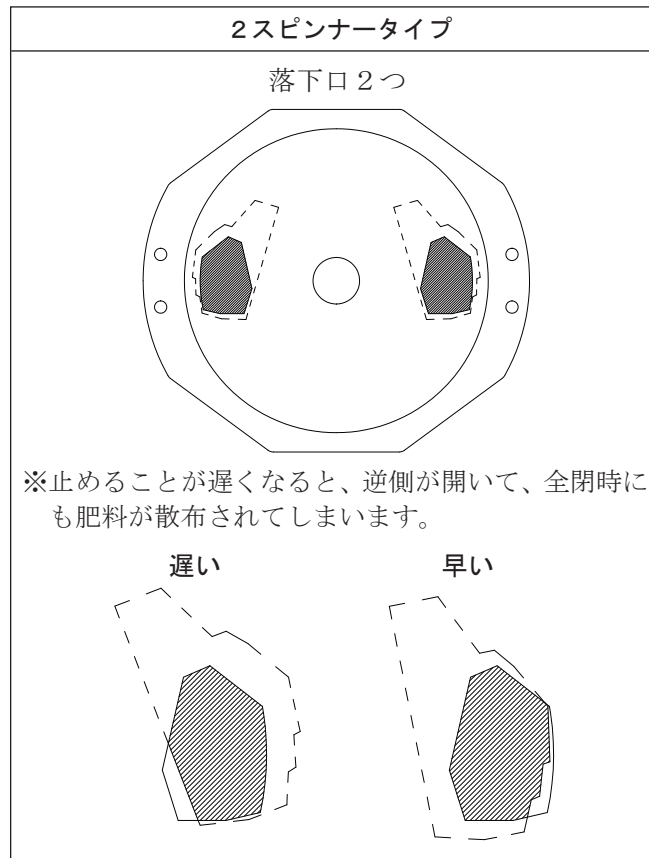
レバースイッチを「開始」側に倒し、シャッターを少し開いてください。右側シャッターのみ動きます。「+」ボタンを押しながら操作すると、早く開きます。



レバースイッチを「停止」側に倒し、落下口が完全に塞がるまで右側シャッタを閉じてください。



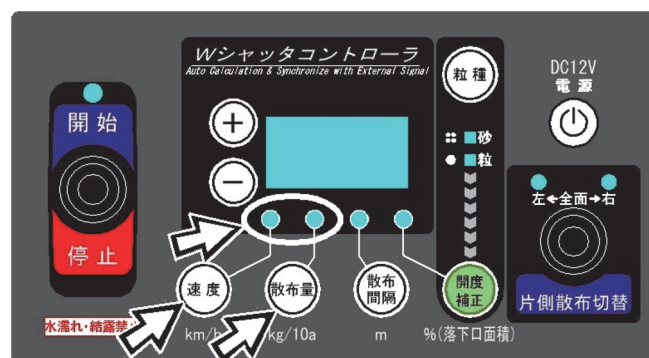
全ての落下口が完全に塞がる瞬間にレバースイッチから手を離して止めてください。



- ※ 落下口が閉じきらない場合は、右側シャッタとレバーのリンク長さを調整してください。
- ※ 左側シャッタが動く場合は、配線が左右逆になっています。「1-2 配線方法」に基づき、再度配線をしてください。

(3) ゼロ点記憶

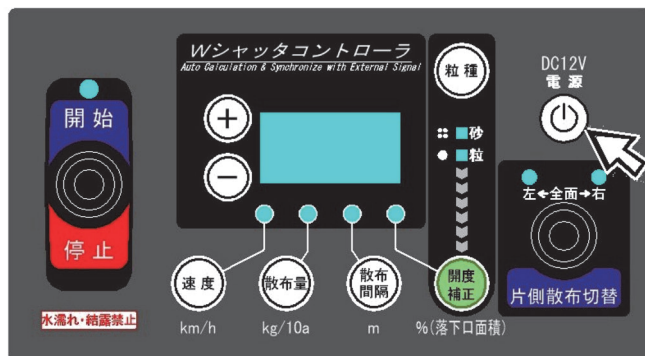
「速度」ボタンと「散布量」ボタンを同時に押してください。速度LEDと散布量LEDが点灯したら終了です。



- ※ 表示されている数値が「96～196」の範囲で速度LEDと散布量LEDが点灯します。その範囲で落下口が閉じきらない場合は、シャッタとレバーのリンク長さを調整してください。

(4) ゼロ点登録モード終了

「電源」ボタンを押して電源を切ってください。

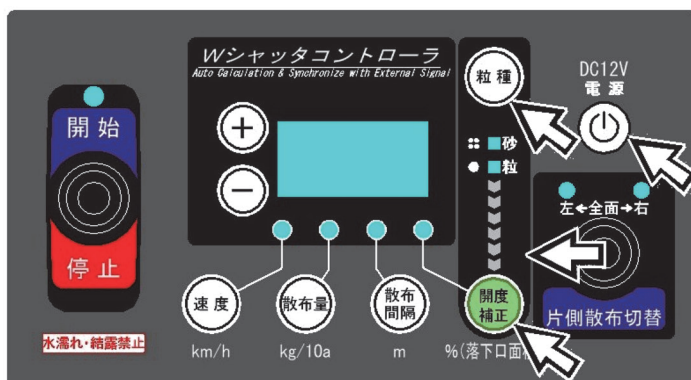


2. 左側シャッタのゼロ点登録

(1) ゼロ点登録モード起動

片側散布切替スイッチを「左」側に倒してください。「粒種」と「開度調整」ボタンを同時に押しながら「電源」ボタンを押し、「電源」ボタンを先に離した後、「粒種」と「開度補正」ボタンを離してください。電源が入ります。

片側散布切替スイッチを倒し忘れた場合は、「電源」ボタンを押して電源を切って、再度初めからやり直してください。



※ 左側電動シャッタのゼロ点登録のときは、数値に右側電動シャッタの登録と見分けるために、小数点が表示されます。

※ 左側シャッタが動く以外は、右側シャッタのゼロ点登録と同じです。「1-1 右側シャッタのゼロ点登録」手順(2)～(4)に基づき左側シャッタの登録を行ってください。

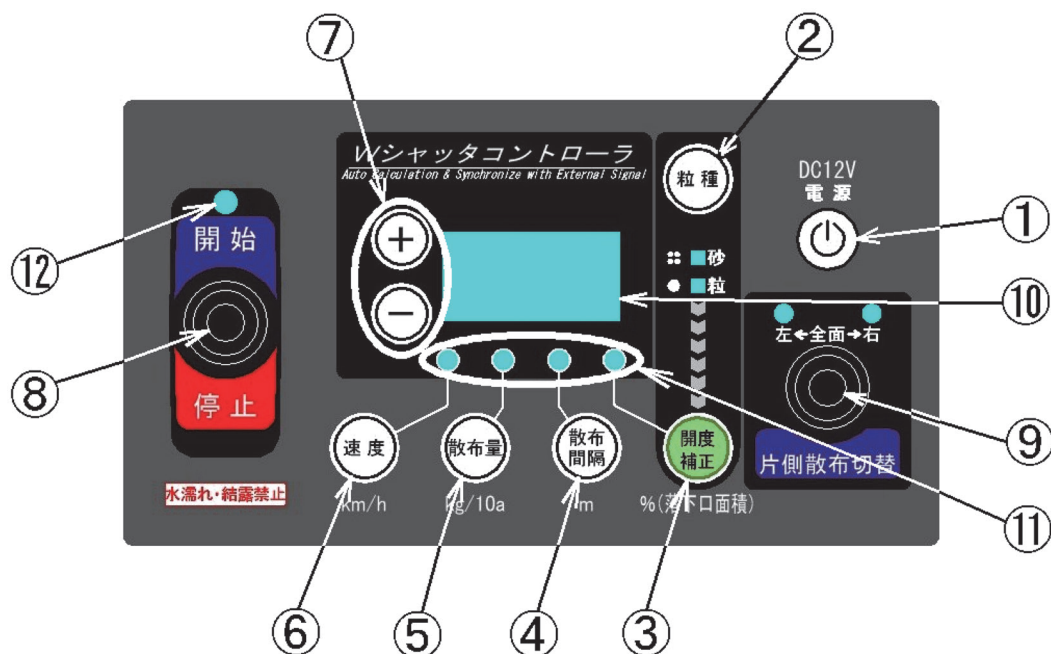
※ 落下口が閉じきらない場合は、左側のシャッタとレバーのリンク長さを調整してください。

取扱い上の注意

- ゼロ点をきちんと登録しないと、肥料の散布量が大きく異なります。また、シャッタがきちんと開閉しないことがあります。必ず作業前にゼロ点登録を行ってください。

3 装置の説明

1 コントロールボックス



① 電源ボタン

装置の電源の入切に使用します。

② 粒種ボタン

肥料の粒種を設定します。

ボタンを押すごとに粒→砂・・・と変わります。

LEDが点灯します。

③ 開度補正ボタン

シャッタ開度を調整します。50%～200%の間で設定可能な数値に応じて肥料の落下口の面積が補正されます。

→値を小さくすると、散布量は少なくなります。

→値を大きくすると、散布量は大きくなります。

④ 散布間隔ボタン

作業時の散布間隔を設定します。

⑤ 散布量ボタン

散布量 (kg / 10a) を設定します。

⑥ 速度ボタン

作業時の速度を設定します。

⑦ +-ボタン

③～⑥の設定時に使用します。

ボタンを長押しすると高速で増減します。

⑧ シャッタ開閉レバースイッチ

散布開始時には、レバーを上側、散布停止時には、レバーを下側に操作します。

⑨ 片側散布切替スイッチ

右片側散布するときには、レバーを右側、左片側散布するときには、レバーを左側に倒します。

全面散布 …………… 右、左LED点灯

右片側散布 …… 右LED点滅

左片側散布 …… 左LED点滅

⑩ 表示部

設定項目値が数字で表示されます。

⑪ 設定LED

各種設定ボタンを押すと設定LEDが点灯します。

⑫ 運転状態LED

運転中に緑色LEDが点灯します。

散布停止中に赤色LEDが点灯します。

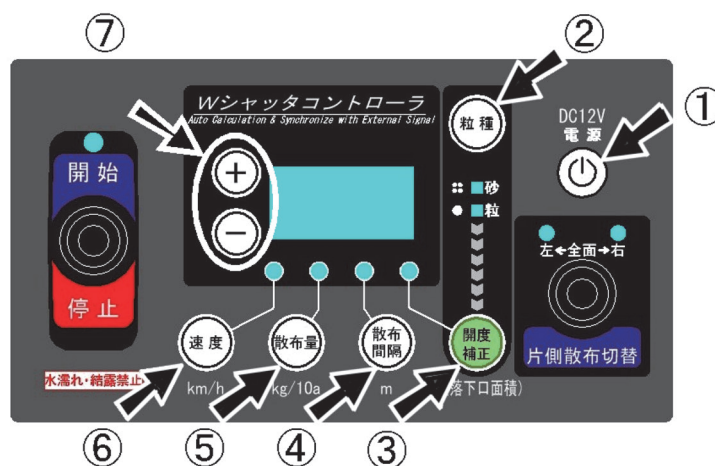
(車速連動中に散布停止した場合は、オレンジ色LEDが点灯します。)

4 作業の仕方

取扱い上の注意

- 散布作業を始める前に必ず、ゼロ点登録を行ってください。登録を行わないと、肥料の散布量が大きく異なることや、シャッターがきちんと開閉しないことがあります。
- 電動シャッターレバーは過負荷による電動モータ保護のための保護装置を内蔵しています。ホッププレートとディスクプレートの上に肥料がたまり、電動モータに過負荷がかかると開度表示が「999」の点滅をして操作不能になります。電源を切り、各作業機の「作業後の手入れ」に基づき清掃を行ってください。再び電源を入れると使用できる状態になります。また他の原因においても保護装置が作動しますので「6 不調処置一覧表」をご確認ください。
- トラクタのアクセサリ電源から電源をとる場合は、トラクタのエンジン始動時とキーOFF時に、コントロールボックスの電源が切れます。コントロールボックスの電源を入れるときは、エンジンが始動してから電源を入れてください。また、電源を切るときはキーOFF前に電源を切ってください。

1 作業前設定



- (1) ①「電源」ボタンを押して、電源を入れてください。
- (2) ②「粒種」ボタンを押して、粒種を選定してください。
「粒種」ボタンを押すごとに、粒⇒砂と切替ります。
- (3) 必要に応じて③「開度補正」ボタンを押して、散布量を調整することができます。(50%～200%)
値の入力は⑦「+」「-」ボタンで行ってください。
※ 数値は落下口の面積比です。散布量の変化する割合とは必ずしも一致しません。
- (4) ④「散布間隔」ボタンを押して、散布時の走行間隔を入力してください。
値の入力は⑦「+」「-」ボタンで行ってください。(設定範囲 3～30m)
※ 散布間隔は、条件に応じた肥料の散布幅を超えない値で設定してください。
※ 出荷状態では下表のように設定されています。

粒 状	18m
砂 状	10m

- (5) ⑤「散布量」ボタンを押して、散布量 (kg / 10a) を入力してください。
値の入力は⑦「+」「-」ボタンで行ってください。(設定範囲 1～620kg / 10a)
※ 値を大きく設定しても、使用するブロードキャストの性能を超える散布量で散布することはできません。
※ 出荷状態では、30kg / 10a に設定されています。

(6) ⑥「速度」ボタンを押して、速度を設定してください。

作業時におけるトラクタ速度は $4 \sim 10 \text{ km/h}$ です。(設定可能範囲 $1 \sim 15 \text{ km/h}$)

※ 設定値を記憶したい場合は、設定の入力が終わったときに「電源」ボタンを押して、一度電源を切ってください。(「電源」ボタンを押すことにより、設定を記憶させることができます。電源ボタンを押さずに電源が切れた場合には記憶はされません。)

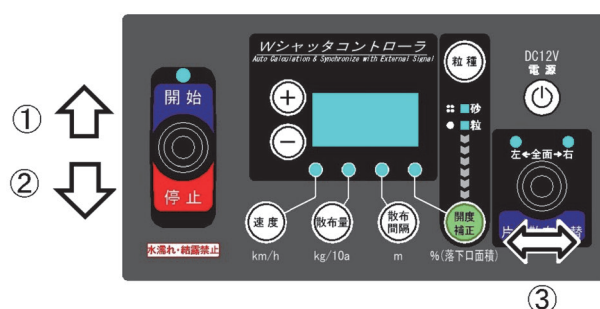
再度、「電源」ボタンを押して電源を入ると、入力した設定値で散布することができます。

取扱い上の注意

- コントロールボックスで設定する「散布量」「散布間隔」は全面散布のときの設定です。

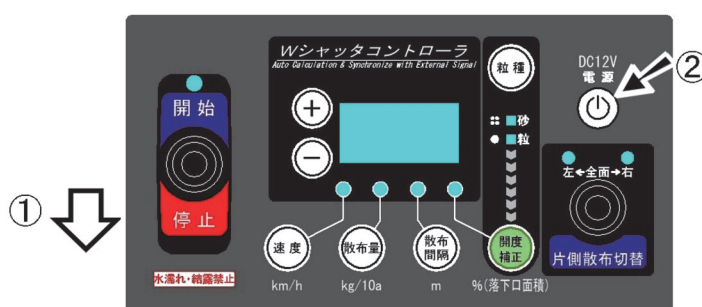
※ トラクタ速度が $4 \sim 10 \text{ km/h}$ 以内でも設定散布量が多いとエラー表示となります。エラーが出た場合、速度を落とすか散布量を減らしてください。

2 作業開始



- (1) レバースイッチを①「開始」側に倒すと、シャッタが開き肥料が散布されますので、走行を開始してください。
- (2) 散布を停止するときは、レバースイッチを②「停止」側に倒してください。シャッタが閉じます。散布を再開するときは、レバースイッチを①「開始」側に倒してください。
- (3) 右片側散布するときは、③片側散布切替スイッチを「右」側に倒してください。左片側散布するときは、③片側散布切替スイッチを「左」側に倒してください。全面散布に戻すときは、③片側散布切替スイッチを中央にしてください。

3 作業終了



- (1) レバースイッチを①「停止」側に倒してください。
- (2) 作業終了後には、②「電源」ボタンを押して、電源を切ってください。
※ 作業終了後に「電源」ボタンを押して電源を切ると、設定を記憶させることができます。(設定入力後、「電源」ボタンを押すことにより、設定を記憶させることができます。)

取扱い上の注意

- 設定開度に関くまでに、微調整動作を数回繰り返す場合があります。
- 散布作業中シャッタが開いた状態で電源を切るとシャッタは閉じません。シャッタを閉じてから電源を切ってください。

4 シャッタ 18 段階モード

18 段階でシャッタを開閉するモードです。

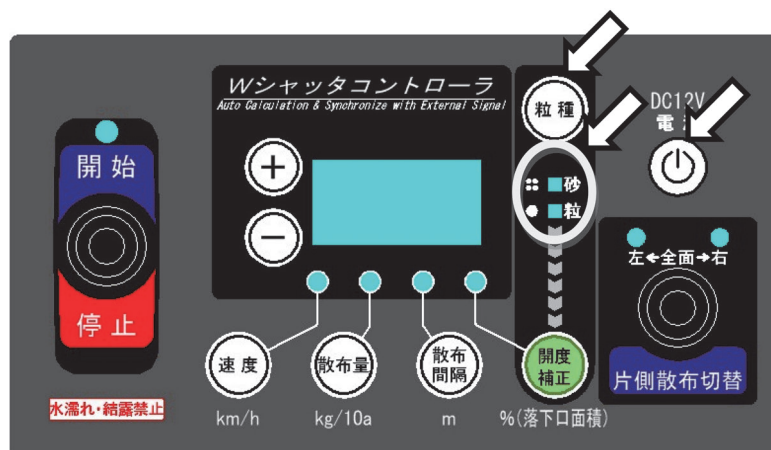
- ・トラクタ車速に連動せずに、開度固定で散布作業を行うことができます。
- ・メンテナンスのシャッタ開閉に利用することができます。

散布量の調整は、本体のホッパに貼っている「開度別散布量」を参照してください。散布量の表はおおよその目安です。

1. シャッタ18段階モード起動

「電源」ボタンを押して電源を入れてください。

「粒種」ボタンを3秒以上長押ししてください。粒種LED（「粒」「砂」）が全て点灯したら、「粒種」ボタンを離してください。

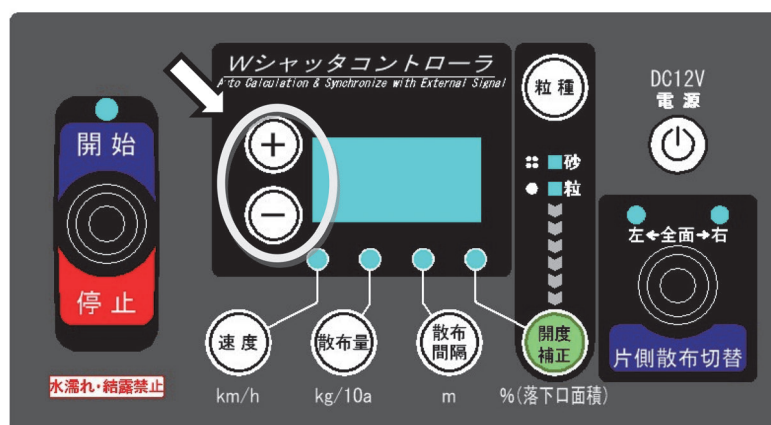


2. 開度の設定

「+」「-」ボタンを押して、開度を設定してください。

「0.5~18.0」（全開）まで設定できます。

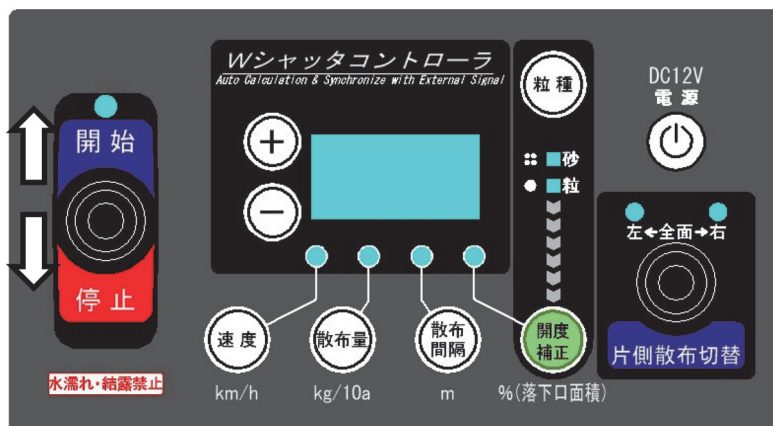
※ 出荷状態では18.0（全開）に設定されています。



3. シャッタ開閉

レバースイッチを「開始」側に倒すと、シャッタが開きます。

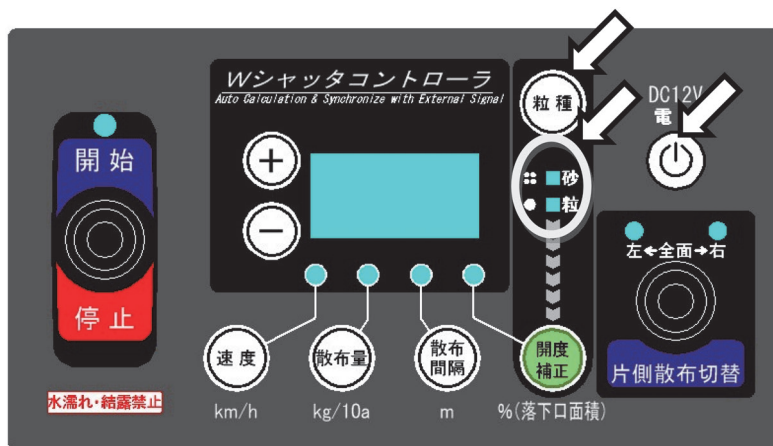
シャッタを閉じるときは、レバースイッチを「停止」側に倒してください。



4. シャッタ18段階モード終了

「粒種」ボタンを3秒以上長押ししてください。粒種LED（「粒」「砂」）のいずれか1つが点灯したら、「粒種」ボタンを離してください。モードが終了しました。

「電源」ボタンを押して電源を切ってください。



取扱い上の注意

- 「電源」ボタンを押して電源を切っても、シャッタ18段階モードは終了しません。「粒種」ボタンを3秒以上長押しして、モードを終了してください。

5 GPSナビライナーとの接続

本製品はEGL3110（GPSナビライナー）と組み合わせることにより、GPSナビキャスタになります。GPSナビキャスタは以下のことができます。

1. GPS車速連動自動シャッタ開閉
2. 施肥マップを用いた可変施肥
3. 経路誘導機能

GPSナビキャスタとして使用する場合は、GPSナビキャスタ・ナビライナーの取扱説明書を参照してください。

6 AG-PORT搭載トラクタとの接続

1 機能

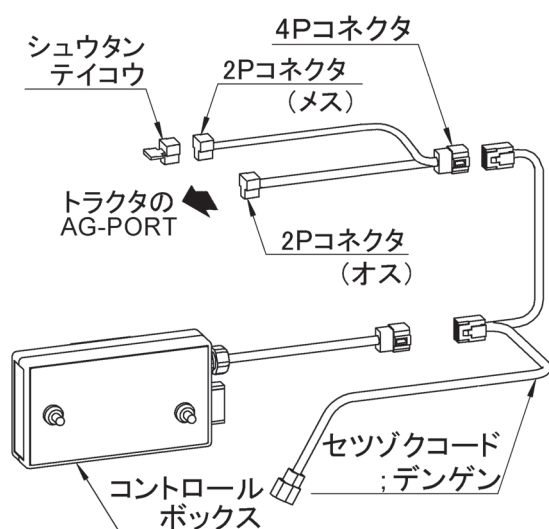
ACB3100Wは、日農工規格AG-PORT搭載トラクタに対応しており、車速連動機能を使用することができます。

1. トラクタ車速に応じたシャッタの開閉(車速連動)
2. 後進走行時、自動でシャッタ閉
3. PTO停止時、自動でシャッタ閉

2 対応するトラクタ

日農工AG-PORT搭載トラクタに対応しています。
※トラクタの型式については、トラクタ販売店にお問い合わせください。

3 配線方法



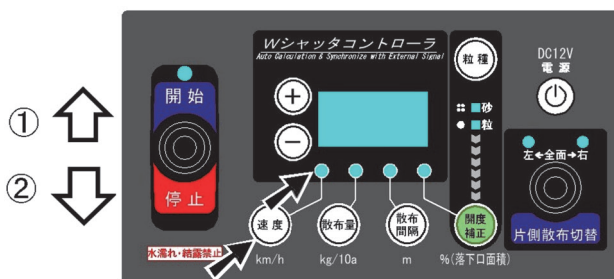
取扱い上の注意

- 使用しないときは、コントロールボックスを取り外して、AGポートケーブルの4Pコネクタに付属のキャップをしてください。
- シュウタンテイコウがトラクタ側のAG-PORTコネクタに接続されている場合があります。上図のように接続し直してください。

AGポートケーブル(オプション)は2種類あります。使用されるトラクタのAG-PORTをご確認ください。

メーカー	部品番号	名称
ヤンマー (三菱RSコネクタ)	1500970000ASY	AGポートケーブルオプションAS ※シュウタンテイコウ含む
ヤンマー (矢崎58コネクタXタイプ)	1500970000ASY	AGポートケーブルオプションAS ※シュウタンテイコウ含む
		ヤンマーより変換ハーネスの購入をお願いします。 1A8471-99610 ハーネスKIT(ヘンカンCAN)
クボタ/キセキ (矢崎62コネクタZタイプ)	1531360000	AGポートケーブル ※シュウタンテイコウなし
クボタ (矢崎58コネクタXタイプ)	1531360000	AGポートケーブル ※シュウタンテイコウなし
		クボタよりハーネスの購入をお願いします。 L9503-30000 新分岐ハーネス L9503-40000 新-旧変換ハーネス

4 作業方法



1. 信号の受信

トラクタと接続し、コントロールボックスの電源を入れた後、「速度」ボタンを押して速度を表示します。

このとき、表示部には実際の速度が表示され(停止中は0が表示)「速度」LEDが点滅します。

2. 車速連動運転開始

レバースイッチを①「開始」側に倒し、走行を開始すると、シャッターが開き肥料が散布されます。このとき、運転状態LEDが緑に変わります。片側散布切替スイッチで片側散布することができます。

PTOが停止した状態、後進走行、トラクタ停止時は、シャッターが自動で閉まります。このとき、運転状態LEDがオレンジ色に変わります。

取扱い上の注意

- PTOが停止していると、シャッターは閉じます。
- 後進走行およびトラクタ停止時は、シャッターは閉じます。

3. 散布の停止

レバースイッチを②「停止」側に倒すとシャッターが閉じ散布が止まります。

このとき運転状態LEDが赤に変わります。作業終了後は、コントロールボックスの電源を切ってください。

7 不調処置一覧表

1 不調処置一覧表

症 状 (コントロールボックスの表示)	原 因	処 置
コントロールボックスの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの⊕⊖接続違い ● 電源取出口の2Pコネクタの接続不良 ● 電源コードの断線 ● コントロールボックスの不良 ● バッテリ劣化による電圧の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1-2 配線方法」手順 (1) ~に基づき配線 ● 「1-2 配線方法」手順 (1)、(4)に基づき配線 ● 補修または部品交換 ● 部品交換 ● バッテリ電圧 (12 V) の確認、充電、交換
シャッタが動かない (「999」が点滅) (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機シャッタ間に肥料が詰まる ● 回動支点部の固着 ● バッテリ劣化による電圧の低下 ● パワーウィンドモータのコネクタの接続不良 ● パワーウィンドモータのコードの断線 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードキャストタ本体の取扱説明書の「作業後の手入れ」に基づき清掃 ● 固着の原因を取除き、グリースを塗布してください ● バッテリ電圧 (12 V) の確認、充電、交換 ● 「1-2 配線方法」手順 (1) ~に基づき配線 ● 補修または部品交換
シャッタが動かない (「111」が点滅) (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動シャッタユニットの本体への取付状態不良 ● 肥料の入れすぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ● レバーに取り付けているロッド長さを伸ばす方向に再調整して、「2. 初期登録」でゼロ点登録をやり直す ● 入れる肥料を減らす
シャッタが動かない (「111」が点滅) (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ● 角度センサの故障 (角度信号過大) ● 角度センサの3Pコネクタの接続不良 ● 角度センサ入力線の断線 ● 角度センサ (-) 線の断線 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品交換 (※1) ● 「1-2 配線方法」手順 (1) ~に基づき配線 ● 補修または部品交換 (※1) ● 補修または部品交換 (※1)
シャッタが動かない (「112」が点滅) (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ● 角度センサの故障 (角度信号過小) ● 角度センサ (+) 線の断線 ● 角度センサ入力線の被覆の破損や断線によりボディに接触している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品交換 (※1) ● 補修または部品交換 (※1) ● 補修または部品交換 (※1)
シャッタが開かない、開度設定できない (電源投入時、表示部に3ケタの数字が点滅)	<ul style="list-style-type: none"> ● シャッタが開いている 	<ul style="list-style-type: none"> ● コントロールボックスのレバースイッチを「停止」側に倒してシャッタを閉じる
開度が設定値と合わない (設定LED全て消灯、粒種LED全てが点灯し、表示部に0.5 ~ 18.0の範囲の数字が表示)	<ul style="list-style-type: none"> ● シャッタ18段階モードになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● もう一度「粒種」ボタンを長押し (3秒以上) してください。粒種LED (「粒」「砂」) のいずれか1つが点灯になったら「粒種」ボタンを離してください。元の状態に戻ります。
(強制的に速度表示になり、数字が点滅する)	<ul style="list-style-type: none"> ● シャッタ全開以上の設定値になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定速度、または設定散布量を減らす
AGポートケーブル接続時走行中だが、速度が、「0 km/h」から変化しない	<ul style="list-style-type: none"> ● PTOが入っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● PTOを入れる
AGポートケーブル接続時、トラクタに接続しない (トラクタ車速が表示されない)	<ul style="list-style-type: none"> ● AGポートケーブルの接続不良 ● AGポートケーブルの断線 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「6-3 配線方法」に基づき配線 ● 補修または部品交換

※1 角度センサ交換の際は、角度センサの取り付け長穴位置がほぼ中央に来るように取り付けください。また、「ゼロ点登録」に基づきシャッタのゼロ点登録を行ってください。

※2 電源を切るまで、全ての操作はできません。電源を入れ直してください。

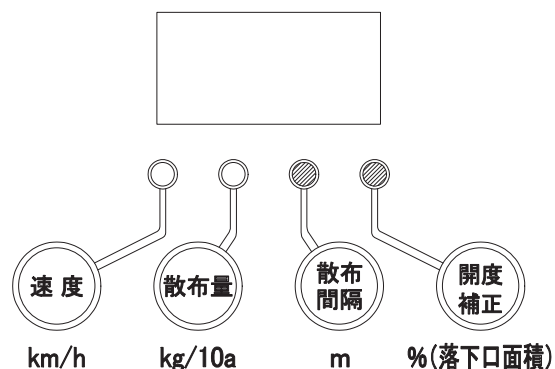
- ・シャッターの不調判断について

「速度」「散布量」「散布間隔」「開度補正」LEDで、右側シャッターの不調か、左側シャッターの不調か判別することができます。

原因が「シャッターが開いている」の場合は、両シャッター同時の不調を判別することが可能です。それ以外の不調は、両シャッター同時の不調でも片方のみの表示になります。

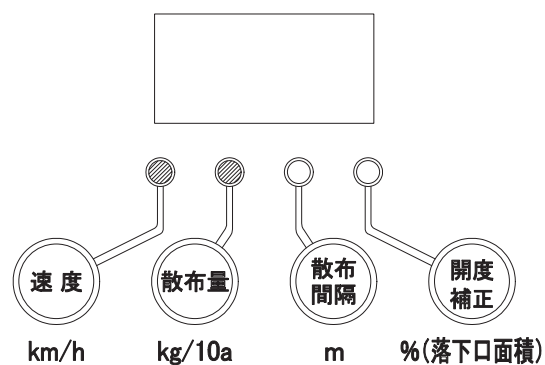
- ・右側シャッターの不調のとき

「散布間隔」「開度補正」LEDが点滅



- ・左側シャッターの不調のとき

「速度」「散布量」LEDが点滅

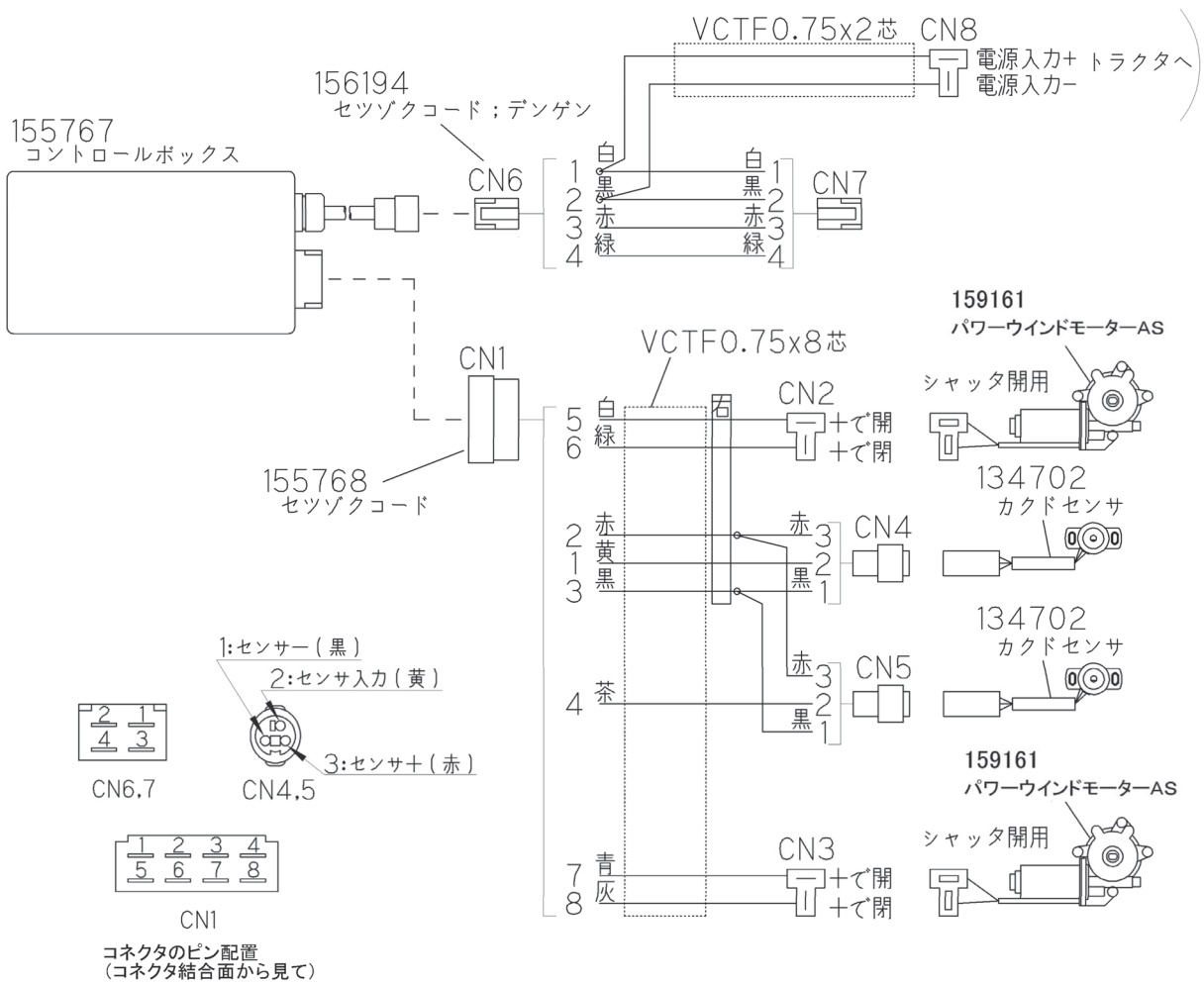


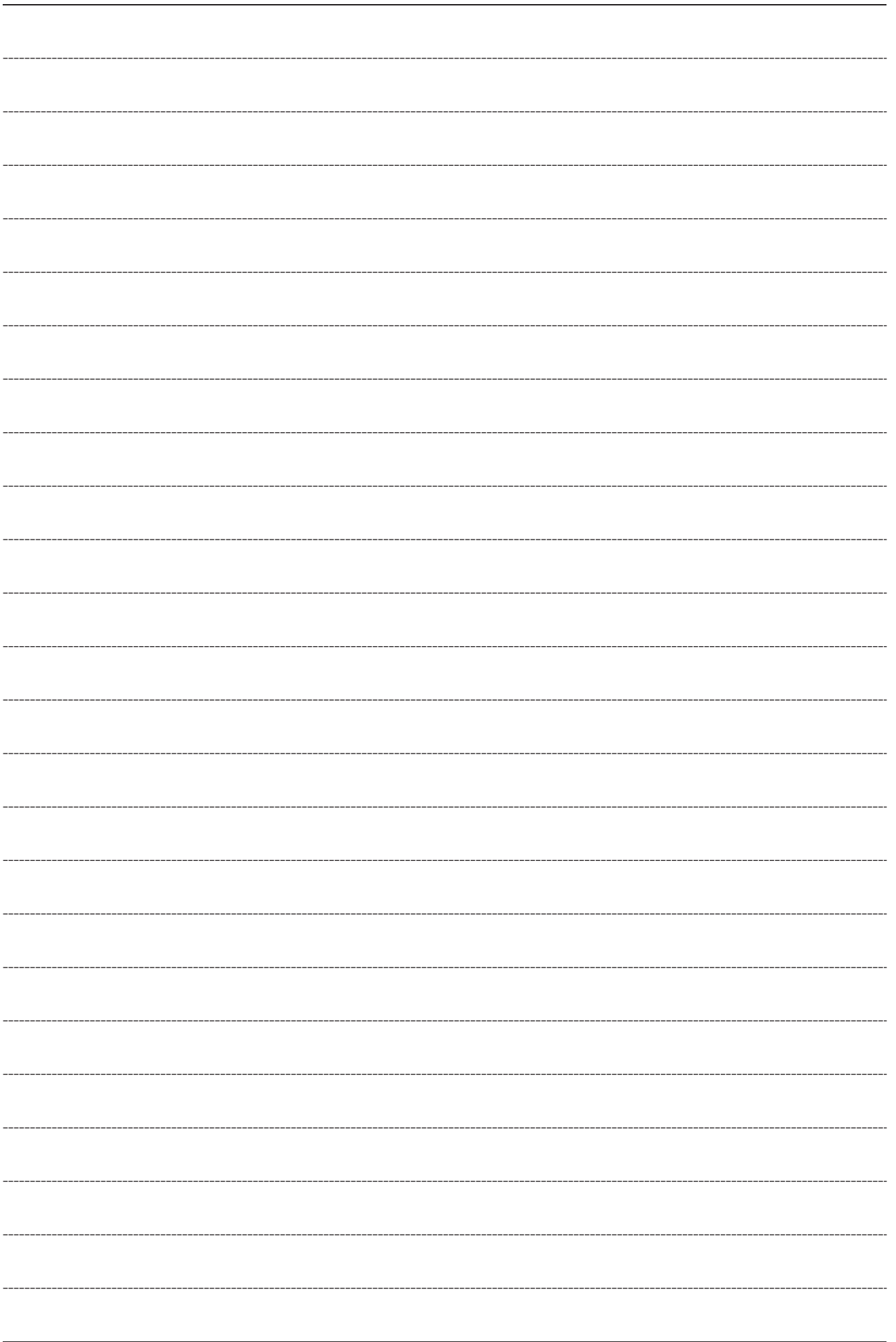
原因や処置の仕方がわからない場合は下記の事項とともに購入先にご相談ください。

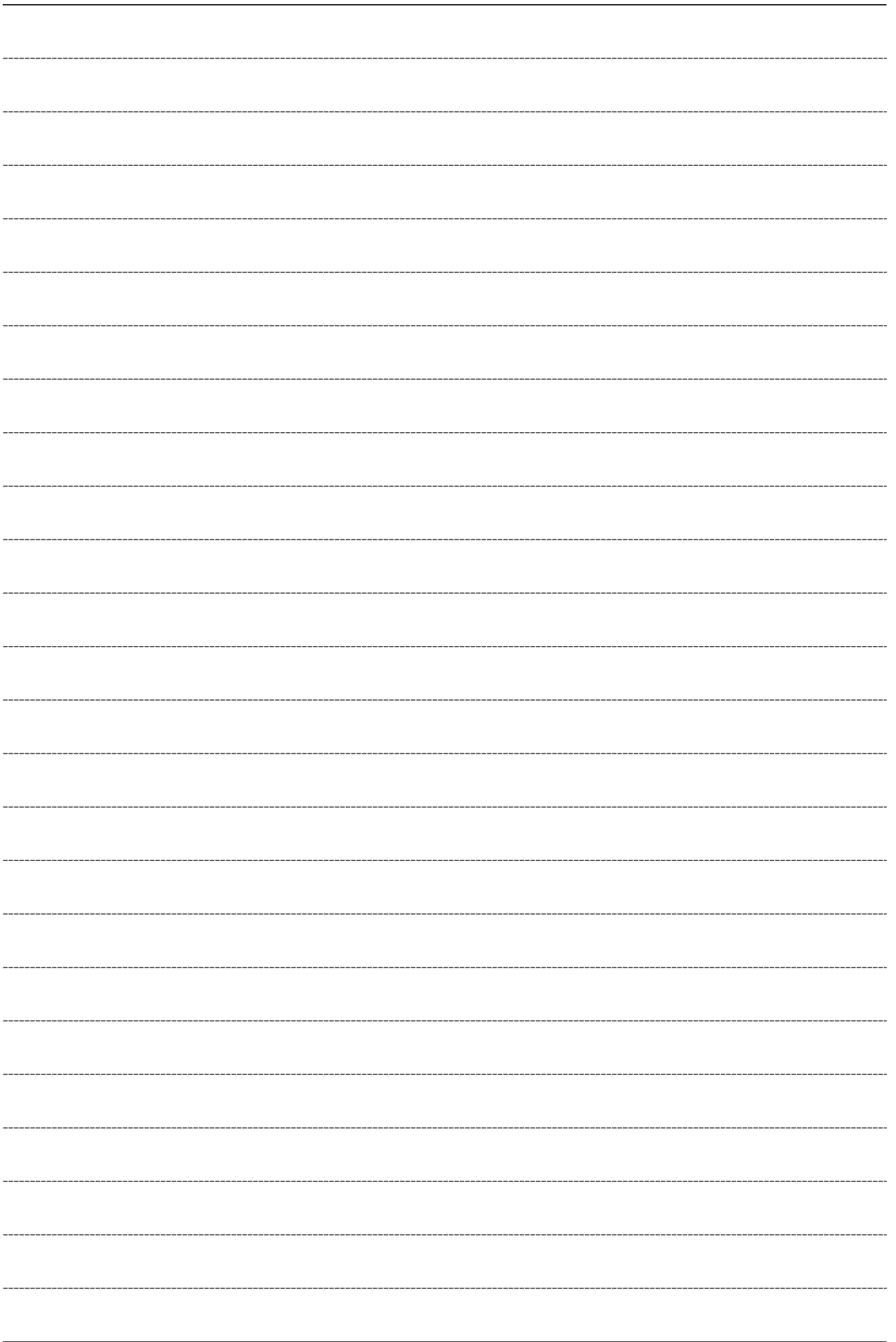
1. 製品名
2. 部品供給型式 (型式)
3. 製造番号
4. 故障内容 (できるだけ詳しく)

この商品は、予告無に仕様の変更をする場合があります。予めご了承ください。

8 配線図







千歳本社 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ 1 1 9 1 番地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西 2 2 条北 1 丁目 1 2 番地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町 2 丁目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花巻営業所 028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第 1 1 地割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙台営業所 984-0032 宮城県仙台市若林区荒井 5 丁目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東海営業所 485-0081 愛知県小牧市横内字立野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市北区下中野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 861-8030 熊本県熊本市東区小山町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都城営業所 885-1202 宮崎県都城市高城町穂満坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233